

おおしま 潮風レター

宗像大社中津宮

おおじめ

宗像大社辺津宮・中津宮・沖津宮のしめ縄は、全て大島の漁師達の手によってなわれています。漁で使うテグス（釣り糸）が巻かれていて、太古から宗像海人族と呼ばれる海の民によって祀られてきたことを象徴しています。



1 本物のワラから



2 力を込めて

蛇がビキ（かえる）飲んだ
ようになっていかん！



3 急に太くならないように



5 2つを1つに



6 はい！回した～



4 3つ分のしめ縄



7 立派なしめ縄完成

【大島交流館】

- ◆営業時間 10:00～16:00
- ◆入館料 無料
- ◆休館日 月曜日（祝日の場合は翌平日）
年末年始、渡船欠航の日
- ◆TEL 0940-72-2797

大島交流館・Instagramでも
情報発信中



大島交流館 HP



ID:oshimakouryukan

あなたが撮った
大島の写真を
一言メッセージとともに
InstagramのDMに
送ってください！
潮風レターに掲載
します♪

おおしま散歩

歴史を訪ねて



1 大島交流館

大島の歴史や文化、沖ノ島との関わりをシアター映像、写真、パネル展示で学ぶ施設です。



ターミナルから徒歩 12 分

大島交流館から徒歩 20 分

2 宗像大社 沖津宮遙拝所

おきつみやようはいしよ

沖ノ島を遥か遠くから拝む（遙拝）ための場です。社殿は沖ノ島の方角を向き、沖ノ島を御神体とする拝殿の役割をもっています。毎年、春・秋の沖津宮大祭はここで行われ、通常は閉められている社殿の扉と窓を開いて神事を行います。



沖津宮遙拝所から徒歩 20 分

3 安昌院

あんしょういん

【安昌院と安倍宗任】

奥州の豪族で、前九年の役で源頼義に敗れ、伊予の国（今治市）へ流罪。三年の間に伊予の地で再び勢力をもち始めたため、当時大宰府管内であった大島へ配遷されたといわれています。安昌院は、宗任が後年、自らの守り本尊として奉持した薬師如来（やくしにょらい）を安置するために寺を建立したとされています。



持尊佛・薬師瑠璃光如来



※展示はしておりません



安倍宗任の墓

安昌院から徒歩 10 分

4 宗像大社 中津宮

なかつみや



※毎年、旧暦の 8 月 7 日に七夕祭が行われます



織女神社



牽牛神社

中津宮は宗像三女神への信仰が篤い大島の人々の信仰の中心で、湍津姫神（たぎつひめのかみ）を祀っています。御嶽山（みたけさん）山頂の御嶽山祭祀遺跡を起源として、現在の本殿は 17 世紀頃に再建されました。また、境内には「天の川」という川が流れています。天上の天の川になぞらえたこの川をはさんで、牽牛（けんぎゅう）神社・織女（しよくじょ）神社があります。